

# 令和4年度 一般社団法人日本在宅看護学会 第1回社員総会次第

日時：令和4年6月20日（月）17:00～19:00  
場所：東京医療保健大学演習室 210+Zoom に  
よるハイブリッド開催

## 議題

### 1. 報告事項

- |                             |     |
|-----------------------------|-----|
| 1) 代議員選挙結果について              | 資料1 |
| 2) 令和3年度一般社団法人日本在宅看護学会事業報告  | 資料2 |
| 3) 第12回日本在宅看護学会学術集会準備状況について | 資料3 |

### 2. 審議事項

- |  |     |
|--|-----|
| 1) (第一号議案) 令和3年度一般社団法人日本在宅看護学会決算報告及び監査報告 | 資料4 |
| 2) (第二号議案) 役員を選任について                     | 資料5 |
| 3) (第三号議案) 第13回学術集会長の選任について              | 資料6 |
| 4) (第四号議案) 名誉会員の選任について                   | 資料7 |

### 3. その他

- |                  |     |
|------------------|-----|
| 1) 令和4年度事業計画について | 資料8 |
|------------------|-----|

## 代議員選挙結果について

令和3年度に実施した代議員選挙の結果は以下の26名となった。(任期別・五十音順)

氏名	所属	任期
大橋 奈美	医療法人ハートフリーやすらぎナーシングデイやすらぎ	2026年総会まで
小野 若菜子	聖路加国際大学	2026年総会まで
角田 直枝	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター	2026年総会まで
萱間 真美	国立看護大学校	2026年総会まで
川添 高志	ケアプロ株式会社	2026年総会まで
佐藤 美穂子	(財)日本訪問看護振興財団	2026年総会まで
柴田 三奈子	山の上ナースステーション	2026年総会まで
其田 貴美枝	青森中央学院大学	2026年総会まで
竹森 志穂	聖路加国際大学	2026年総会まで
山田 雅子	聖路加国際大学	2026年総会まで
山本 則子	東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻	2026年総会まで
青柳 道子	北海道大学大学院保健科学研究院創成看護学分野	2030年総会まで
秋山 正子	武庫川女子大学看護学部	2030年総会まで
石田 千絵	日本赤十字看護大学	2030年総会まで
岩本 大希	ウィル訪問看護ステーション	2030年総会まで
尾崎 章子	東北大学	2030年総会まで
柏木 聖代	東京医科歯科大学	2030年総会まで
酒井 昌子	聖隷クリストファー大学	2030年総会まで
佐藤 直子	中央パートナーズ株式会社	2030年総会まで
椎名 美恵子	訪問看護ステーション みけ	2030年総会まで
鹿内 あずさ	北海道文教大学	2030年総会まで
臺 有桂	神奈川県立保健福祉大学	2030年総会まで
本田 彰子	聖隷クリストファー大学	2030年総会まで
蒔田 寛子	豊橋創造大学 保健医療学部看護学科	2030年総会まで
森下 安子	高知県立大学看護学部	2030年総会まで
吉江 悟	東京大学医学部在宅医療学拠点	2030年総会まで

## 令和 3 年度 一般社団法人日本在宅看護学会事業報告

会員数：932 名（令和 4 年 3 月 31 日現在）

### □学術集会の開催

- ・第 11 回日本在宅看護学会学術集会の開催  
 テーマ：危機の時代における 在宅看護の覚悟と挑戦  
 集会長：結城美智子（北海道大学大学院）  
 開催日：2021 年 11 月 13 日（土）、14 日（日） 方式：Web 開催  
 参加者：478 名  
 プログラム：シンポジウム 3 件、パネルディスカッション 2 件、共催セミナー（グラクソスミスクライ  
 ン）1 件、業務委員会企画指定交流集会 1 件、学術集会企画委員会企画指定交流集会 2 件、  
 特別講演 3 件、教育講演 3 件、教育セミナー 6 件、一般演題 65 件
- ・第 12 回日本在宅看護学会学術集会の準備  
 テーマ：在宅看護のサステナビリティ  
 集会長：川添高志（ケアプロ株式会社/株式会社エイチ・ユウ・ジー）  
 開催日：2022 年 11 月 19 日（土）、20 日（日） 方式：中野サンプラザ+オンライン
- ・日本在宅看護学会学術集会に関する情報発信  
 ホームページを活用し、学術集会に関する参加募集・演題募集等の広報のための情報発信を行った。  
 第 11 回からはメール配信サービスも併用し会員向けの情報発信を充実させている。

### □会誌等の発行

- ・学会誌第 10 巻第 1 号（令和 3 年 8 月）および第 2 号（令和 4 年 2 月）の発刊  
 第 10 巻 1 号は原著論文 3 本・研究 8 本を掲載した。  
 第 10 巻 2 号は第 11 回学術集会開催報告のほか、原著論文 1 本・研究 4 本・資料 3 本を掲載  
 した。  
 発行部数 約 1000 部（前年約 1100 部）
- ・投稿論文の増加に伴う、編集委員、査読委員体制の強化をおこなった。
- ・投稿論文の増加に伴う電子投稿システムの導入による効率化が図られた。
- ・学術集会プログラム・抄録集を分冊とし、学術集会参加者が入手できる形を継続している。

### □在宅看護学の発展に資する教育・研究の推進

- ・在宅看護学に関する研究・教育・研修内容の検討  
 第 2 回 E-learning として、『事例研究の進め方（講師：東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専  
 攻 山本則子先生）』を学会ホームページに掲載した。  
 第 3 回 E-learning として、『訪問看護師への暴力等防止（講師：西宮市社会福祉事業団訪問看護課課長 山  
 崎和代先生）』を学会会員に対してメールで案内した。暴力等に関するテーマであり、一般公開することは  
 控えた。  
 次年度に向けた研修内容の検討を進めた。
- ・研究倫理審査の実施  
 研究倫理委員会の運用が開始され、委員会の設置および開催について会員に周知を行った。  
 委員会の開催はなかった。
- ・災害対策関連事業の計画と実施  
 関連情報の情報収集を行った。今後、災害に関する日常の準備や、発災後の対応など時期に応じて簡  
 単に利用できる形でホームページに集約して掲載する予定である。

### □人々の健康と福祉に貢献するための社会活動

- ・令和 3 年 11 月 5 日（金）～21 日（日）に市民向け公開講座をオンデマンド配信で実施した。

市民公開講座 1 「住み慣れた地域で最後まで自分らしく暮らす」

演者：青柳 道子（北海道大学）

市民公開講座 2 「医療的ケアが必要でも安心して暮らせる社会を」

演者：内多 勝康（国立成育医療センターもみじの家ハウスマネージャー、元 NHK アナウンサー）

#### □保健医療福祉政策に関する建議

- ・ COVID-19 の影響もあり、情報収集にとどまった。
- ・ 学会間のネットワークを強化するため、日本看護系学会協議会、看護系学会等社会保険連合、日本在宅ケアアライアンスへの入会手続きを進めることとなった。

#### □国内外の関連機関・団体との協力及び連携

- ・ 高齢者救急問題を検討する懇話会及び日本救急看護学会との連携  
COVID-19 の影響もあり、情報収集にとどまった。
- ・ 日本救急医学会との連携  
COVID-19 の影響により中断している。

#### □その他この法人の目的を達成するために必要な事業

- ・ 学樹種集会運営マニュアルの作成  
業務委員会により、過去の学術集会の運営を取りまとめてマニュアルを作成した。
- ・ 法人運営に適した事務局体制の検討  
運営および会計処理に関する内部資料を整えた。  
会員管理業務の外部委託を継続した。
- ・ 会員向けメール配信サービスの開始  
即時性の高い情報発信ができるよう、メール配信サービスと契約を行い、継続している。

## 第12回日本在宅看護学会学術集会準備状況について

テーマ：在宅看護のサステナビリティ

集会長：川添高志（ケアプロ株式会社/株式会社エイチ・ユウ・ジー）

開催日：2022年11月19日（土）、20日（日） 方式：中野サンプラザ+オンライン

参加登録や演題募集が行われており、演題募集は5月31日まで延長した。

第12回 日本在宅看護学会学術集会

# 在宅看護のサステナビリティ Sustainability

2022年 11月19日(土)20日(日)

**会場** 中野サンプラザ 13階・14階  
(東京都中野区中野4丁目1-1)

**会長** 川添 高志  
(ケアプロ株式会社/株式会社エイチ・ユウ・ジー)

**主催** 一般社団法人 日本在宅看護学会

**共催** 公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団 / 公益財団法人 セコム科学技術振興財団

ナカノさんも参加します！  
「中野大好きナカノさん」とは？  
あらゆる個性を受け入れる中野の魅力を発信するキャラクター。

法人名：一般社団法人 日本在宅看護学会

## 貸借対照表

令和 4年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	37,298,164	31,412,502	5,885,662
未収入金	392,000	3,120,000	2,728,000
流動資産合計	37,690,164	34,532,502	3,157,662
2. 固定資産			
(1)基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2)特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3)その他固定資産			
その他の有形固定資産	1	1	0
ソフトウェア	162,000	259,200	97,200
その他固定資産合計	162,001	259,201	97,200
固定資産合計	162,001	259,201	97,200
資産合計	37,852,165	34,791,703	3,060,462
負債の部			
1. 流動負債			
未払金	154,300	105,200	49,100
前受金	24,000	200,000	176,000
預り金	8,000	0	8,000
流動負債合計	186,300	305,200	118,900
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	186,300	305,200	118,900
正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
正味財産合計	37,665,865	34,486,503	3,179,362
負債及び正味財産合計	37,852,165	34,791,703	3,060,462

# 正味財産増減計算書

令和 3年 4月 1日 から令和 4年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
受取会費	8,640,000	10,920,000	2,280,000
事業収益			
学術集会事業収益	4,854,000	5,311,000	457,000
教育・研究事業収益	0	0	0
事業収益計	4,854,000	5,311,000	457,000
雑収益			
受取利息	253	188	65
その他雑収益	1,525,559	952,380	573,179
雑収益計	1,525,812	952,568	573,244
経常収益計	15,019,812	17,183,568	2,163,756
(2) 経常費用			
事業費			
臨時雇賃金	170,019	8,240	161,779
旅費交通費	19,740	59,410	39,670
広告宣伝費	592,600	0	592,600
支払手数料	274,613	319,319	44,706
業務委託費	2,867,835	2,046,985	820,850
減価償却費	97,200	97,200	0
賃借料	77,000	35,228	41,772
通信費	292,698	443,934	151,236
消耗品費	69,860	70,661	801
諸謝金	493,387	297,096	196,291
会議費	53,145	112,098	58,953
印刷製本費	1,968,980	2,733,775	764,795
雑費	0	0	0
事業費計	6,977,077	6,223,946	753,131
管理費			
臨時雇賃金	84,000	0	84,000
旅費交通費	760	1,150	390
広告宣伝費	49,500	149,050	99,550
支払手数料	3,850	9,350	5,500
業務委託費	740,000	1,591,962	851,962
減価償却費	0	0	0
賃借料	0	11,742	11,742
通信費	203,555	270,778	67,223
租税公課	3,000	55,594	52,594
消耗品費	4,428	9,875	5,447
諸謝金	565,950	668,800	102,850
会議費	0	628	628
印刷製本費	0	0	0
雑費	18,330	830	17,500
管理費計	1,673,373	2,769,759	1,096,386
経常費用計	8,650,450	8,993,705	343,255
当期経常増減額	6,369,362	8,189,863	1,820,501
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
貸倒償却	3,120,000	0	3,120,000
経常外費用計	3,120,000	0	3,120,000
当期経常外増減額	3,120,000	0	3,120,000
税引前当期一般正味財産増減額	3,249,362	8,189,863	4,940,501
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	3,179,362	8,119,863	4,940,501
一般正味財産期首残高	34,486,503	26,366,640	8,119,863
一般正味財産期末残高	37,665,865	34,486,503	3,179,362
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
正味財産期末残高	37,665,865	34,486,503	3,179,362

正味財産増減計算書内訳表  
令和 3年 4月 1日 から令和 4年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計					小計	法人会計	内部取引消去	合計
	学術集会開催	会誌等発行	教育・研究	研究倫理	関連団体協力連携				
一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
受取会費							8,640,000		8,640,000
会員会費収入									0
事業収益								500,000	4,854,000
学術集会収入	5,354,000					5,354,000			0
セミナー会費収入									0
受取補助金等									0
受取地方公共団体補助金									0
雑収益									0
受取利息	10					10	243		253
雑収益	1,500,000					1,500,000	25,559		1,525,559
経常収益計	6,854,010	0	0	0	0	6,854,010	8,665,802	500,000	15,019,812
(2) 経常費用									
事業費									
臨時雇賃金	111,369		58,650			170,019			170,019
旅費交通費	19,740					19,740			19,740
広告宣伝費	592,600					592,600			592,600
支払手数料	271,923	1,320	1,370			274,613			274,613
業務委託費	2,621,435	246,400				2,867,835			2,867,835
減価償却費		97,200				97,200			97,200
賃借料			77,000			77,000			77,000
通信費	75,502	217,196				292,698			292,698
消耗品費	18,160	51,700				69,860			69,860
諸謝金	488,387		5,000			493,387			493,387
会議費	53,145					53,145			53,145
印刷製本費	796,600	1,172,380				1,968,980			1,968,980
雑費						0			0
事業費計	5,048,861	1,786,196	142,020	0	0	6,977,077		0	6,977,077
管理費									
臨時雇賃金							84,000		84,000
旅費交通費							760		760
広告宣伝費							49,500		49,500
支払手数料							3,850		3,850
業務委託費							740,000		740,000
減価償却費							0		0
賃借料							0		0
通信費							203,555		203,555
租税公課							3,000		3,000
消耗品費							4,428		4,428
諸謝金							565,950		565,950
会議費							0		0
印刷製本費							0		0
雑費							518,330	500,000	18,330
管理費計							2,173,373	500,000	1,673,373
経常費用計	5,048,861	1,786,196	142,020	0	0	6,977,077	2,173,373	500,000	8,650,450
評価損益等調整前当期経常増減額									
当期経常増減額	1,805,149	1,786,196	142,020	0	0	123,067	6,492,429	0	6,369,362
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計							0		0
(2) 経常外費用									
貸倒償却							3,120,000	0	3,120,000
経常外費用計							3,120,000		3,120,000
当期経常外増減額							3,120,000		3,120,000
税引前当期一般正味財産増減額	1,805,149	1,786,196	142,020	0	0	123,067	3,372,429	0	3,249,362
法人税、住民税及び事業税						0	70,000		70,000
当期一般正味財産増減額	1,805,149	1,786,196	142,020	0	0	123,067	3,302,429	0	3,179,362
一般正味財産期首残高							34,486,503		34,486,503
一般正味財産期末残高	1,805,149	1,786,196	142,020	0	0	123,067	37,788,932	0	37,665,865
指定正味財産増減の部									
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0
正味財産期末残高	1,805,149	1,786,196	142,020	0	0	123,067	37,788,932	0	37,665,865



## 財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な質疑を抱かせる事象または状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

学会利用のソフトウェアについては、償却期間（5年）の定額法により処理している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他の有形固定資産	122,148	122,147	1
ソフトウェア	486,000	324,000	162,000
合計	608,148	446,147	162,001

4. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	債権金額	貸倒引当金の 当期末残高	債権の当期末残高
未収入金	392,000	0	392,000
合計	392,000	0	392,000

注) 会員の資格喪失者に対する会費未回収額3,120,000円を貸倒償却として経常外費用に計上している。

## 財 産 目 録

令和 4年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	普通預金	みずほ銀行三鷹支店		28,726,994
	普通預金	ゆうちょ銀行	学術集会	500,000
	普通預金	ゆうちょ銀行	会費管理	8,071,170
	未収入金	会員に対する未収額	会員会費	392,000
流動資産合計				37,690,164
(固定資産)	その他の有形固定資産	事務局用パソコン		1
	ソフトウェア	Editorial Manager日本語版		162,000
固定資産合計				162,001
資産合計				37,852,165
(流動負債)	未払金	(株)アトラス	Editorial Manager利用料	26,400
	未払金	伊豆アート印刷(株)	HP更新・サーバ-使用料	49,500
	未払金	梅崎 智子	3月分賃金	8,400
	未払金	千代田都税事務所	法人住民税	70,000
	前受金	会員からの前受額	翌年度会員会費	24,000
	預り金	会員からの預り額	返金予定会費	8,000
流動負債合計				186,300
固定負債合計				0
負債合計				186,300
正味財産				37,665,865

# 監査報告書

令和4年6月6日

一般社団法人 日本在宅看護学会  
理事長 山田雅子 殿

一般社団法人 日本在宅看護学会  
監事 上野桂子

監事 棚橋さつき



令和3年4月1日～令和4年3月31日までの会計年度における会計及び事業の監査を行い、次の通り報告する。

## 1 監査方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事からの業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務遂行の妥当性を検討した。

## 2 監査意見

- (1) 正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

## (第2号議案) 役員を選任について

定款第23条に基づき、今回選出された代議員による互選により、以下の者が役員（理事・監事）候補者として、選ばれた。（五十音順）

### ○理事候補者

- 青柳道子（北海道大学）
- 石田千絵（日本赤十字看護大学）
- 尾崎章子（東北大学）
- 小野若菜子（聖路加国際大学）
- 角田直枝（茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター）
- 川添高志（ケアプロ株式会社）
- 佐藤直子（東京ひかりナースステーション）
- 山田雅子（聖路加国際大学）
- 山本則子（東京大学）
- 吉江 悟（東京大学医学部在宅医療学拠点）

### ○監事候補者

- 柏木聖代（東京医科歯科大学）
- 椎名美恵子（訪問看護ステーションみけ）

## 理事長・指名理事の承認について

総会を中断し、承認された理事によって開催した理事会において、新理事長に山田雅子理事の選出が決議され、山田雅子理事長より、指名理事として以下の者が指名された。

### ○指名理事候補者

- 清水準一（東京医療保健大学）
- 高砂裕子（南区医師会訪問看護ステーション）
- 西村恵理奈（聖路加国際大学）

これまでの審議の結果、役割の分担を行い、以下の役員体制となる。

理事長	山田雅子（聖路加国際大学）	
副理事長	清水準一（東京医療保健大学）	指名理事
学会誌編集委員会	尾崎章子（東北大学）	
	石田千絵（日本赤十字看護大学）	
研修委員会	川添高志（ケアプロ株式会社）	
	青柳道子（北海道大学）	
研究倫理審査委員会	山田雅子	兼任
広報委員会	吉江 悟（東京大学医学部在宅医療学拠点）	
業務委員会	山本則子（東京大学）	
	角田直枝（茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター）	
会計	西村恵理奈（聖路加国際大学）	指名理事
	高砂裕子（南区医師会訪問看護ステーション）	指名理事
選挙管理委員会	清水準一	兼任
	佐藤直子（東京ひかりナースステーション）	
庶務	小野若菜子（聖路加国際大学）	
	佐藤直子	兼任
監事	柏木聖代（東京医科歯科大学）	
	椎名美恵子（訪問看護ステーションみけ）	

理事の任期は、令和 6 年度の総会終結の時まで

監事の任期は、令和 8 年度の総会終結の時まで

## (第3号議案) 第13回学術集会長の選任について

理事会での審議に基づき、第13回日本在宅看護学会学術集会長に、清水準一会員（東京医療保健大学千葉看護学部）を選任する。

参考)

テーマ（仮）： 在宅看護、すぐそばに在る

日 時： 2023年11月下旬を予定

会 場： 千葉県船橋市での開催を軸に検討中（ハイブリット開催も検討します）

## (第 4 号議案) 名誉会員の承認

理事会での審議により、これまで該当者がいなかった名誉会員についての内規を作成し、これに基づき以下の 2 名が候補者となった。これに基づき該当者に意向を確認し、了解が得られたため、理事長より今年度からの名誉会員として推薦する。

○名誉会員候補者

- 上野桂子
- 川村佐和子



## 令和四年度 一般社団法人日本在宅看護学会事業計画

1. 第12回日本在宅看護学会学術集会の開催
2. 2回の学会誌発行
3. 在宅看護学の発展に資する教育・研究の推進
  - ・ 学会員の研究する力が向上する
  - ・ 看護師基礎教育改正に関連して「地域・在宅看護論」の内容および教授方法について情報を集め、発信する
4. 災害対策関連事業案の立案
5. 市民向け公開講座の開講
6. 診療報酬・介護報酬改定に向けた活動の開始
7. 事務局体制の強化
8. その他この法人の目的を達成するために必要な事業
  - ・ 国内外の関連機関・団体との協力及び連携

令和4年度(2022年度) 日本在宅看護学会予算案

収入の部		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		根拠
	科目		科目			
会費収入	正会員会費収入(1000人*85%)	¥7,040,000	正会員会費収入	¥7,136,000	正会員947名・未納者55名(未納率5.8%)として算出(20220307時点)	
	賛助会員会費収入	¥30,000	賛助会員会費収入	¥30,000	¥10,000×3名(20220307時点)	
	賛助団体会員会費収入	¥50,000	賛助団体会員会費収入	¥50,000	¥50,000×1団体(20220307時点)	
	購読会員	¥36,000	購読会員	¥36,000	¥12,000×3か所(20220307時点)	
	倫理審査	¥30,000	倫理審査	¥30,000	1件見込み(研究倫理委員会)	
学術集會会費収入	会費	¥5,000,000	会費	¥9,070,000	第12回予算案より算出	
セミナー収入	参加費	¥0	参加費	¥0	予定なし(研修委員会)	
雑収入	利息	¥200	利息	¥200	R3から算出	
	広告・出展・寄付収入	¥1,180,000	広告・出展・寄付収入	¥3,040,000	第12回予算案より算出(広告¥2,510,000、学会誌収入¥30,000、雑収入¥500,000)	
収入合計		¥13,366,200		¥19,392,200		
支出の部		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		根拠
	科目		科目			
特許	商標登録	¥0	商標登録	¥0	該当なし	
資金移動・前渡金	学術集會開催前渡金	¥500,000	学術集會開催前渡金	¥500,000		
事業費	学術集會開催	¥3,900,000	学術集會開催	¥12,244,000	第12回予算案から算出	
	会誌等発行	¥2,000,000	会誌等発行	¥2,000,000	R3から算出	
	教育・研究	¥208,000	教育・研究	¥208,000	2回のオンライン動画研修にかかる謝金及び撮影・編集費(研修委員会)	
	研究倫理	¥30,000	研究倫理	¥30,000	1件の審査員謝金および事務費等(研究倫理委員会)	
	健康福祉貢献	¥50,000	健康福祉貢献	¥166,190	災害コンテンツにかかるHP作成および人件費等(業務委員会)	
	保健医療福祉政策	¥0	保健医療福祉政策	¥0	予定なし	
	関連機関・団体協力連携	¥180,000	関連機関・団体協力連携	¥180,000	看保連¥80,000、看護系学会協議会¥100,000(R3より算出)	
	その他	¥0	その他	¥0	該当なし	
管理費	臨時雇賃金	¥184,000	臨時雇賃金	¥144,000	事務アルバイト ¥1,200/時×20時間×6回(理事会)	
	事務委託費	¥1,000,000	事務委託費	¥1,000,000	R3から算出	
	事務費(消耗品費・通信運搬費)	¥390,000	事務費(消耗品費・通信運搬費)	¥270,840	R3から算出(会計・通信運搬費¥5,000、Dropbox年間使用料¥15,840、めるはいくん年間手数料)	
	旅費交通費	¥10,000	旅費交通費	¥10,000	R3年から算出	
	雑費	¥60,000	雑費	¥60,000	R3年から算出	
	賃借料	¥50,000	賃借料	¥50,000	R3から算出	
	税務関係報酬	¥600,000	税務関係報酬	¥640,000	R3年度予算に、登記費用¥40,000を追加(庶務)	
	什器備品	¥0	什器備品	¥0	該当なし	
	租税公課	¥100,000	租税公課	¥100,000	R3から算出	
	広告宣伝費	¥140,000	広告宣伝費	¥200,000	R3を参考に増額(広報委員会)	
	支払手数料	¥20,000	支払手数料	¥20,000	R3から算出	
	減価償却費	¥0	減価償却費	¥0	該当なし	
	会議費	¥3,000	会議費	¥3,000	R3から算出	
	印刷製本	¥40,000	印刷製本	¥40,000	R3から算出	
支出合計		¥9,465,000		¥17,866,030		
収支差額		¥3,901,200		¥1,526,170		